

## CATCH:キャッチ(非営利連合)

お話：Eve Layman

レポート：浅井めぐみ

### ★概要

CATCH は「Community Action Toward Children's Health」の略で、オカナガン地区における様々な地域の健全な子育てを支援する活動を行っている連合である。

CATCH が目指すのは、子育てに優しいコミュニティづくりで、主な活動は、地域の子育て環境の把握、子育て世帯と地域をつなぐサポート、地域住民・関係各所向けのフォーラムの開催などがある。

### ★活動内容

BC 州では、3つの省で子育ての支援体制がとられている。

その3つの省の中の1つである「Ministry of Child and Family Development (通称 MCFD)」では、子ども、親、養育者、チャイルドケア施設などに対する資金補助や援助に関わるプログラムやサービスの提供を行っており、CATCH は、そのプログラムの一部に属している。資金も MCFD から出されている。

CATCH の主なスタッフは3人で、その内2人がフルタイム、1人がパートタイムで勤務されている。

CATCH には、「パートナー」と呼ばれている子どもに関わる事業に取り組んでいる団体が数多く関わっており、それぞれのパートナーが集まることにより、相互協力を行える場となっている。CATCH が果たす役割として、

- ・ミーティングスペースの提供
  - ・ネットワーキングの場
  - ・情報発信
  - ・ワークショップ、イベント
- などがあり、多様に富んでいる。

その活動の一部として、キャンペーン活動の一環である「#isitgood4children(それは子どもにとってよいのか?)」というハッシュタグ企画がある。これは、選挙前の活動として行われた。

多くの政治家が経済や軍事対策などに尽力し、福祉や教育対策がおざなりにしているという傾向があったため、ツイッターなどの SNS を使い、ハッシュタグで拡散することで、子どもについて考えるきっかけ作りがされていた。

また最近では「Central Okanagan Family Habs-Kelowna(通称 Habs)」という活動がスタートした。これは、子育ての支援サービスが受けられるように整備され、また、ネット上ではないリアルなコミュニティの場としての役割を果たしている。具体的には、

- ・アボリジニの子育て支援対策
  - ・父の育児サポート
  - ・医療ケア
- などが挙げられる。

また、Habs の特徴として、近隣に住む人たちと共に作っていくという考え方があり、Habs の場自体も、周りの人たちを巻き込んで作りあげていったということを伺った。

Habs での活動も、そこへ来た人や団体の、悩みや課題などを解決するために、皆で話し合いながら決めたり、家族同士やパートナーのつながりの中から、新たな形を作る試みも行われたりしている。

#### ★感想

##### ①行政の協力

行政が率先して、資金補助やプログラムの作成を行っているということに感銘を受けた。日本で活動を行うとなると、まず、資金面で苦しい面が出てくる。ゆとりがないため、活動自体も十分なものになり得ない。日本で取り組むためには、どういった方法が考えられるか模索できたらと思った。

##### ②コンセプトへの共感

CATCH の目指しているところが、子育てに優しいコミュニティづくりであり、家族同士や子育て支援に取り組む団体をつなぐ橋渡しの役割を担っている。

現在の日本の子育てに関する多くの課題を解決するためにも、CATCH のような取り組みは非常に大きな役割を果たすのではないかと感じた。

##### ③画期的な方法

とりわけ、Habs の取り組みは先進的である。中でも、経営者やオーナーが起案したり、設営したりするのではなく、周りを巻き込んで皆で作ろうとする試みは素晴らしい。現代社会では、個々の課題が多様化しているし、都会になればなるほど、親が孤立化している現状がある。そのため、みんなで支え合ったり、お互いの課題をみんなで解決したりできる場の必要性を強く感じる座談会となった。



<Eve Layman さんからレクチャーを受ける>

